

国立大学法人京都工芸繊維大学による新型コロナウイルス感染症対策事業に関する調査・研究報告書について

令和4年6月29日
福祉保健課

日野町では、京都工芸繊維大学・水野大二郎教授によるワクチン集団接種事業、および日野町役場公式ウェブサイトにおけるワクチン予約システム・ワクチンメーターについての調査・研究に協力し、現場調査や役場職員・関係者へのインタビューに対応しました。このたび日米による共同研究報告書としてまとめられましたので、お知らせします。



【日野町における対応の主な分析結果】

- 行政・議会・市民間での理解の共有
- 医療従事者・システム開発企業・日本赤十字奉仕団等、外部との連携・共創
- 住民への情報発信と政策における住民意見の反映
- 異常事態における柔軟な組織体制構築

【主な提言】

- 習慣化した組織体系や運用を見直す、組織の状態・アイデンティティの再確認
- 不確実な問題に備える・回避する・うまく対応するためのデザイン
- 重要局面における柔軟な意思決定をするためのデザイン、その行為者を育成するためのデザイン

【目次】

- 第1章 滋賀県日野町におけるコロナ禍の行政サービス調査
- 第2章 オンライン座談会：日本国内における「行政とデザイン」
- 第3章 パーソンス美術大学講義「Public & Collaborative Services」

報告書は、京都工芸繊維大学・KYOTO Design Lab にて公表されています。

<https://www.d-lab.kit.ac.jp/news-press-release/2022/service-blueprint/>